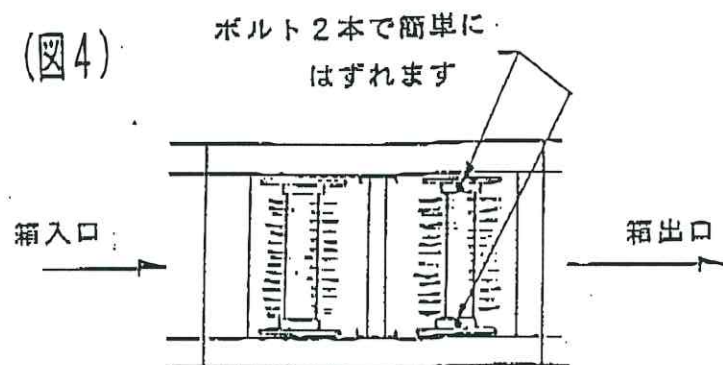
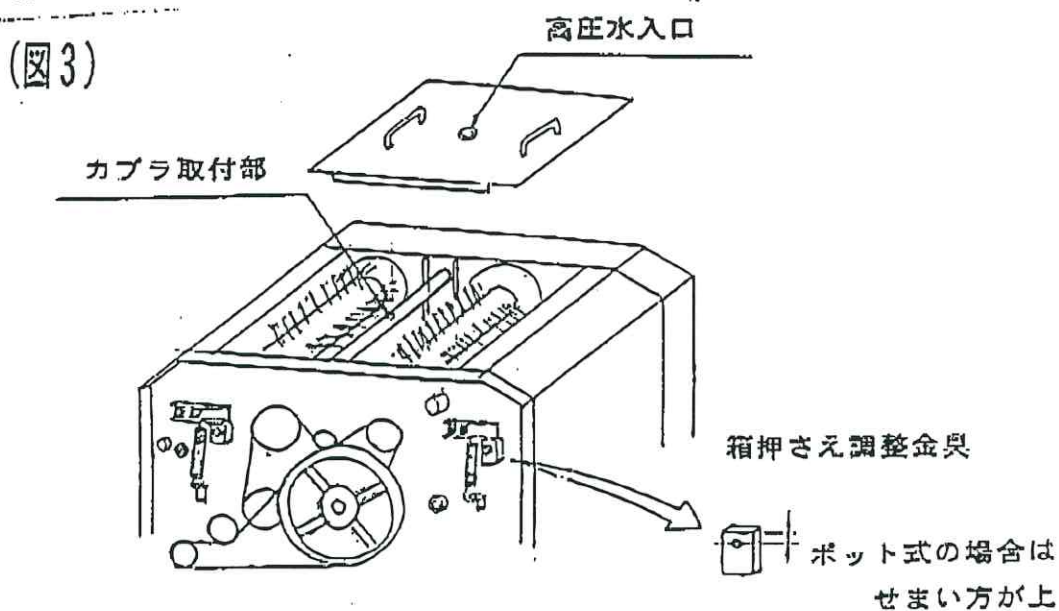
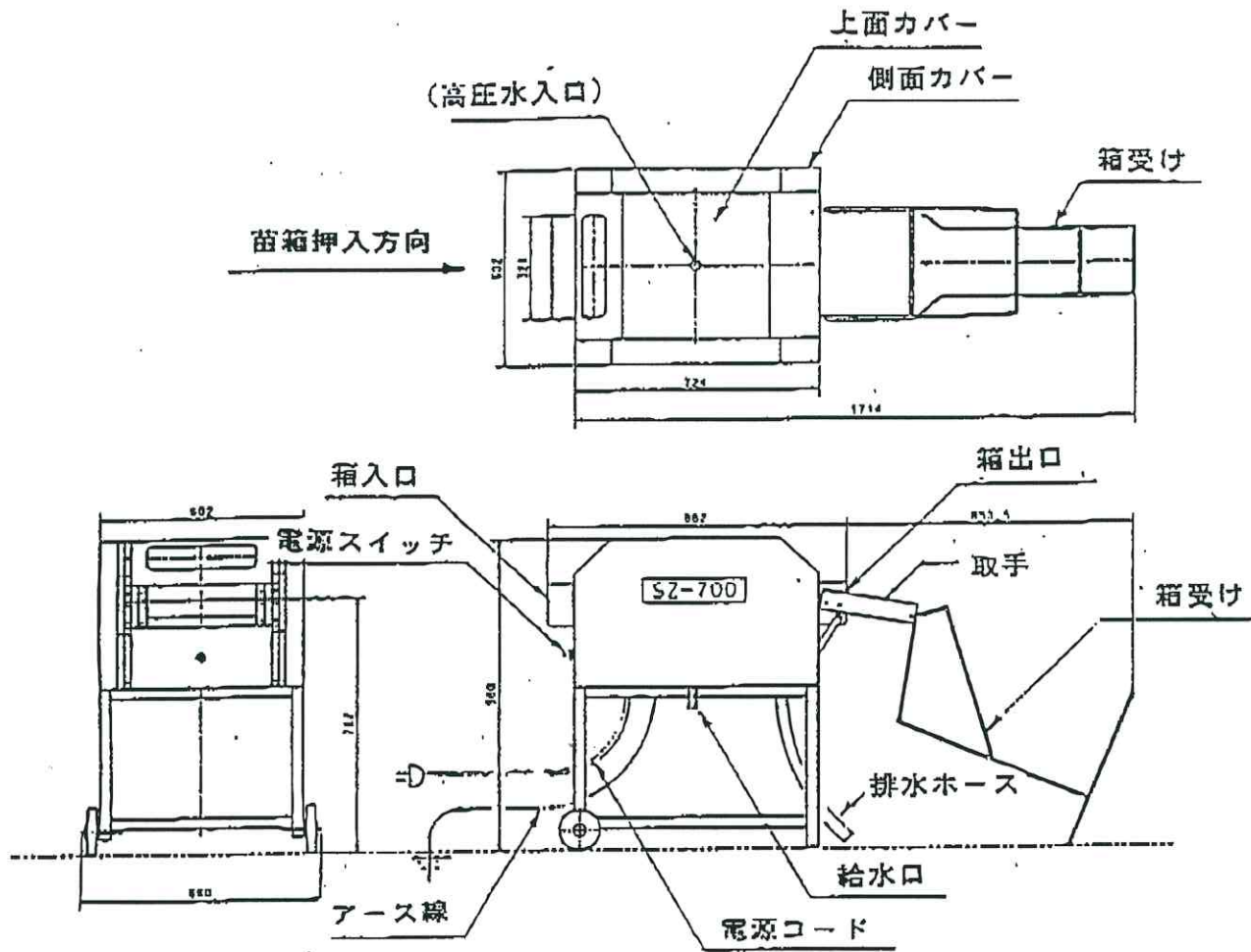


ポット式苗箱の場合にはこの他に

- (5) 高圧ポンプの噴射ノズルを、図3の高圧水入口カブラへ挿入してください。なおカブラは、高圧ポンプの洗車ノズル等より外し、カブラ取付部に取り付けてください。
(SZ-700aの場合、高圧噴射ノズルはオプションです。)
- (6) 側面カバーをはずし、箱押さえ調整金具をポット式対応にセットし直してください。箱押さえ調整金具は、本体の左右に2ヶずつ計4か所あります。4か所全てセットし直してください。(図3参照)
(SZ-700bポット式苗箱仕様の場合は、あらかじめポット式対応にセットされています。)
- (7) 箱出口側の上ブラシのボルト2本はずし、ブラシをはずしてください。ポット式には不要です。(図4参照)
(SZ-700bポット式苗箱仕様の場合は、あらかじめブラシは、付いていません。)



(1) 各部の名称



(2) 仕様

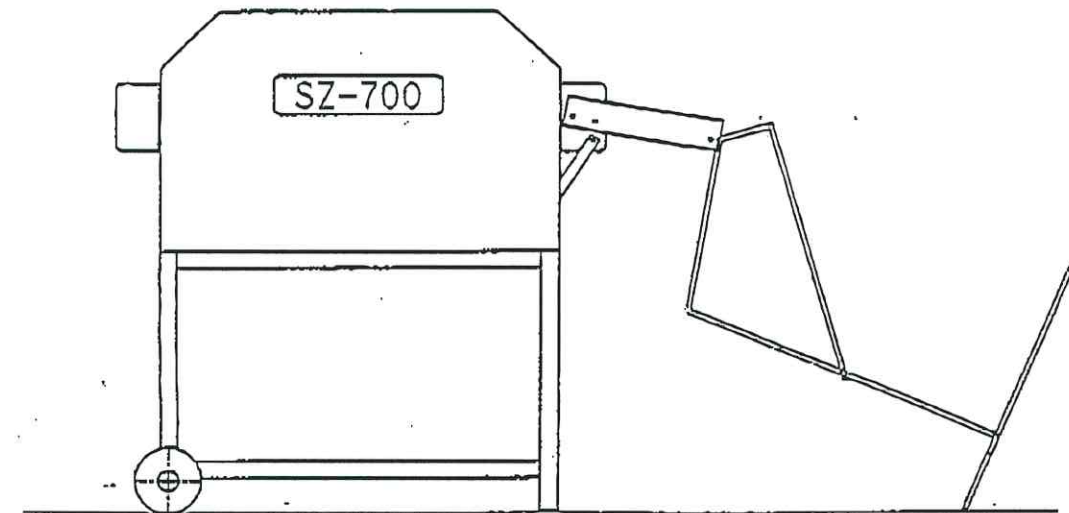
型式	SZ-700	電源	AC100V
全長	882m/m	使用モーター	400W(コンデンサ付)
幅	680m/m	給水	水道水
高さ	960m/m	洗浄方式	前後反転ブラシ使用
重さ	72kg	使用ブラシ	上面用2本、下面用2本
処理能力	700枚/時	高圧ポンプ	ポット苗箱専用

高速苗箱洗浄機

SZ-700 取扱説明書

このたびは、高速苗箱洗浄機「SZ-700」をお買いあげいただき誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」を良くお読みいただき、正しい使い方でご使用ください。なお、間違った使用をされますと機能を十分に発揮しなかったり、故障や思わぬ事故を招くことがありますのでご注意ください。



オギハラ工業株式会社

(4) 使用方法

(1) 苗箱の洗浄

- 1、水道水を供給してください。
- 2、電源スイッチを入れてください。
- 3、苗箱を、上向きで順次入れてください。

△ 注意 苗箱が接近し過ぎるとすると、洗浄が不十分になります。
10 cm以上離して苗箱を、入れてください。

(2) 苗箱の取り出し

- 1、箱受けに苗箱が約10枚程重ったら、取り出してください。

ポット式苗箱の洗浄では

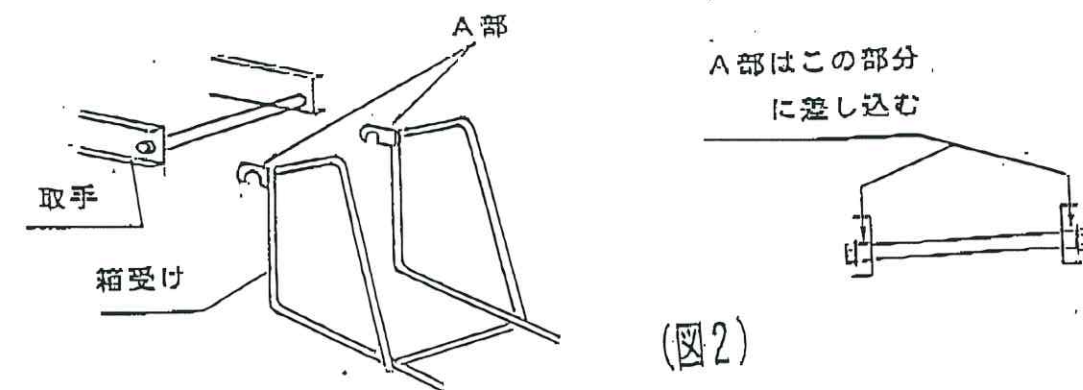
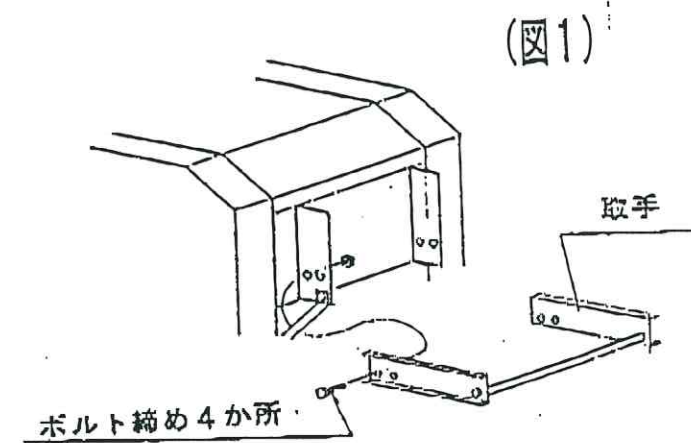
- (1) 苗箱は、上面を下にして入れてください。
- (2) 箱受けは、専用の物を使用してください。
(SZ-700bポット式苗箱の場合は、あらかじめセットされています。)

△ 警告 高圧水を使用しますので、運転中は絶対にカバーをはずさないでください。ケガをする恐れがあります。

(5) 日常の点検

(3) 使用前の準備

- (1) 苗箱出口側に、取手を取り付けてください。(図1参照)
- (2) 箱受けを、取り付けてください。(図2参照)
- (3) 給水口にお手持ちのホースを接続し、給水の準備をしてください。
- (4) アースを確実に取り付けてください。



(7) 部品交換のしかた

(1) ブラシ交換の手順

- 1、上面カバーを、取り外してください。
- 2、ブラシ両端のM6ボルト・ナットを取り外すと、簡単に2つに割れ
ブラシの交換ができます。

△ 注意 ブラシを交換するときは、電源プラグを抜いてください。
ケガをする恐れがあります。

(8) 保管 (長期間使用しない場合)

- (1) 箱受け、上部カバーをはずして本体内部を清掃してください。
- (2) 各部カバーをはずして、機械に付着した水をふき取ってから、チェー
ン軸受け等の回転部に注油してください。

(9) アフターサービス

- (1) 本機を使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店又は当社
までご連絡ください。適切な対応を致します。

(製造・発売元) **オギハラ工業株式会社**

本社営業部 新潟県上越市新保古新田639番地
工場 TEL (0255) 25-3505
営業部専用 FAX (0255) 22-2285

- (1) 本機の水受け内部を、使用中点検し必要があれば清掃してください。
- (2) 側面カバーをはずして、各回転部を点検し必要があれば注油してく
ださい。

△ 注意 電源プラグを抜いてから、清掃又は注油をしてください。
ケガをする恐れがあります。

(6) 故障・異常の見分け方

(1) 苗箱の洗浄が悪い原因

- 1、水道水の供給圧が、弱い。
- 2、供給水のホースが、折れている。
- 3、散水パイプの穴が、詰まっている。
- 4、ブラシが、摩耗している。

(2) 苗箱の動きが悪い場合には

- 1、可動ローラー用スプリングを、強くする。
- 2、箱送り切替金具の位置を、確認する。
- 3、ゴムローラーが、摩耗している。

△ 注意 電源プラグを抜いてから、点検、調整をしてください。
ケガをする恐れがあります。